

別記様式（第 5 条関係）

会 議 録

会議の名称		福津市認定こども園設置検討委員会（第 5 回）
開催日時		令和 8 年 5 月 1 2 日(火) 午後 7 時から午後 7 時 4 5 分まで
開催場所		福津市役所別館大ホール
委員名		(1) 出席委員 田中敏明、田中沙織、井手由紀子、副田正士、 梶谷敦子 (2) 欠席委員 無し
所管課職員職氏名		こども家庭部 部長 中村雅美 教育部 部長 宮原栄介 学校教育課 課長 石井啓雅 こども課 課長 仲野浩章 係長 千原みどり 主査 上川祥也
会 議	議 題 (内 容)	1. 開会あいさつ 2. こども家庭部長あいさつ 3. 委員会運営方法 (1) 会議公開・非公開について (公開・非公開の是非) (2) 会議録の作成について 4. 答申案について (1) 答申案の説明 (2) 答申案についての意見聴取
	公開・非公開の別	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開
	非公開の理由	
	傍聴者の数	1 名
	資料の名称	・ 答申案
会議録の作成方針		☐ 録音テープを使用した全文記録
		☒ 録音テープを使用した要点記録
		☐ 要点記録
		記録内容の確認方法

その他の必要事項	
----------	--

審議内容 （発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1 開会あいさつ

2 こども家庭部長あいさつ

3. 委員会運営方法について

事務局：（１）会議の公開・非公開について、事務局としては、今回の会議は、特に個人情報など、公開することに支障がある議題はございませんので、会議については公開ということで、会議の傍聴を行わせていただきたいと思いますと考えております。次に、（２）会議録の作成についてですが、事務局では録音テープによる要点記録で議事録を作成し、会長にご確認いただいた後、各委員さんへの送付と併せて、ホームページ等に掲載したいと考えております。

会長：以上の２点についていかかでしょうか。

ご異議がないようですので事務局の提案どおり本会議は公開、会議録は要点記録とします。

事務局：本日は傍聴人が１名いらっしゃいますので、ここで傍聴人に入場していただきます。

（傍聴人着席）

4. 答申案について

会長：「①答申案の説明」について、事務局から説明をお願いします。

事務局：答申案について事務局から説明。

会長：ただいまの説明に関して、ご不明な点などはありませんでしょうか。無いようですので、次に、「②答申案についての意見聴取」に進みます。各委員より認定こども園化を目指すにあたり、期待する点や、その他ご意見等があればお話いただきたいと思います。

井手委員：私自身この保育の世界に入って３０数年が経過し、様々な子どもや保護者を見てきましたが、今後も子どもたちや保護者の姿は大きく変わっていくと思います。保護者のニーズも変化していく中で、それに応えていけないといけない世の中になっていると思います。ただし、いつの時代も、子どもたちはいつも素直で笑顔が絶えません。認定こども園化することによって、子どもたち、保護者、そして地域のために、良い方向に進んでいくことを願っています。

梶谷委員：皆様の様々な意見を聞く中で、私も公立保育所の保育士として、子どもたちの最善の利益というところを目指して働いていたことを思い出しながら参考にさせていただきました。大和保育所は公立なので、地域の親子に対しても充実した保育というものを浸透させないといけないと承知してい

ましたので、そのことも含めて、地域の親子が参加できるような事業に取り組みさせていただき、現在もこれらが引き継がれていることが嬉しく思っています。認定こども園化することにより、双方のメリットを生かす形として、今まで福津市が積み重ねてきた保育行政というものがさらに生かされていけば良いと思います。

副田委員：現在、どの地域も少子化の影響を受けており、幼稚園は運営が厳しい状況にあります。昔、園児数については、幼稚園の方が多かったですが、今は逆転して保育園が多く、ここまで時代のニーズが変わったことに大変驚いています。そうした中で興味深かったのは、福津市には公立の幼稚園があるということです。宗像市には公立の幼稚園は無いのですが、福津市は公立の神興幼稚園があって、園児数が少ない中、尽力されていたのはとても良いと思いました。今の形のまま引き継いで行けたら良いと思うのですが、時代のニーズの流れがあるので、認定こども園化は致し方ないと思います。しかし、それまで福津市が培ってきた神興幼稚園の様々な教育の在り方というものを認定こども園化すると同時に、引き継いで欲しいと思います。保育園と幼稚園の2つの良さを生かした認定こども園になることを期待しています。

副会長：私自身も皆さんと意見を交わす中で、地域の保育を考えるきっかけになりました。今、保育業界には、医療的ケア児や障がい児への対応のほか、貧困や虐待への対応、災害時の支援など様々なことが求められています。今後、認定こども園化することは、方向性としてはすべての子どもたちに関係することだと思います。福津市にとってのすべての子どもたちがどういった子どもたちなのかを見つめ直してほしいと思いました。支援がすべての子どもたちに行きわたるように願っています。

事務局：委員の皆様には熱心に議論いただきましてありがとうございます。行財政改革の中で、公立保育所については民営化するという話も出ていたところから、令和4年度に大和保育所機能検討委員会でやはり公立の役割もあるという審議がなされました。しかし、そのままの姿で公立保育所として継続していくことは難しく、神興幼稚園も園児数が減少している現状もありましたので、お互いの良さが無くならないように、継続していく道を探る中で、色々ご検討いただいた結果、認定こども園化という道筋ができたと思います。今後、福津市の子どもたちによって、より良い形で認定こども園化を目指していきたいと思います。

会長：私は50年、保育の世界で活動をしてきました。最初のころは、幼稚園児がとても多かったですが、今では保育園児が増えています。公立幼稚園は保護者のニーズにすべて対応できないということもあって、園児が減少し、公立幼稚園がある自治体も減りました。さらに、幼稚園教育要領や保育所保育指針についても、形が変化し、今では保育内容が多様化してきました。今後、公立の認定こども園としてそれぞれの役割が存続されるということから、保育士、幼稚園教諭が一丸となって意見を出し合いながら、原点にもどって、素晴らしい保育を作っていくことを期待しています。そのほかにご意見がなければ本内容を答申とします。

事務局：委員の皆様にはこれまで、5回の会議において、協議いただきまして、誠にありがとうございました。これをもちまして第5回福津市認定こども園設置検討委員会を終了します。今後、本答申を、会長より市長にお渡ししていただきます。